

子宮頸がん（HPV） 予防接種説明書

予防接種を受ける前に以下をよくご覧ください。わからないことは接種を受ける前に医師にご質問ください。

【どんな病気？】

子宮頸がんは、がんによる死亡原因の第3位、女性特有のがんで第2位、特に子宮の入り口にできる子宮頸がんは20～30代のがんで第1位を占める近年増加傾向のがんです。子宮頸がんの発症者は、前がん病変を含めると年間約15,000人で、そのうち死亡者は約3,500人です。

子宮がんは進行すると不正出血や下腹部痛等の症状が現れますが、初期の場合はほとんど自覚症状がないため、早期発見と予防が重要な病気です。

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で引き起こされています。粘膜の接触による性交渉の感染と考えられ、すべての女性の80%が一生涯に一度は感染すると報告があるほど、ごくありふれたウイルスです。

HPVには100種類以上のタイプ（型）があり、このうち15種類が発がん性HPVで、中でも16型、18型と呼ばれる2種類が子宮頸がんの主な原因と言われています。その割合は欧米では70～80%、日本では約50～70%を占めるといわれており、このワクチンを接種しただけでは完全に子宮頸がんを予防できるわけではないため、併用して定期的ながん検診を受けることが必要です。

【どんなワクチン？】

子宮頸がんから最も多く検出されるHPV16型・18型に対する抗原を含む不活化ワクチンです。現在2価（サーバリックス）と4価（ガーダシル）の2種類のワクチンがあり、当センターで使用する4価ワクチン（ガーダシル）はHPV16型・18型の2種類以外に尖圭コンジローマの主要な原因となるHPV6型・11型に対する抗原を含みます。このワクチンは性交渉前の女性に接種することでHPV感染を防ぐものです。すでに今、感染しているHPVを排除したり、子宮頸部の前がん病変やがん細胞を治す効果はありません。なお、このワクチンに含まれるウイルス自体には遺伝子が含まれないので、接種したことによって感染が起こることはありません。このワクチンは妊娠していることが明らかな場合は接種できません。

接種方法は、4価ワクチン（ガーダシル）は、初回接種から2か月後に2回目、初回から6か月後に3回目を接種します。予定通り接種できない場合は、2回目の接種は初回接種から少なくとも1か月以上、3回目の接種は2回目の接種から少なくとも3か月半以上の間隔をあけて実施します。

2価（サーバリックス）を使用したい方は、別途ご相談ください。

【副反応は？】

ワクチン接種後、注射部位の痛み・発赤・腫れ等が高い頻度で現れます。他に、発熱、頭痛、胃腸症状等が現れることがあります。また血管迷走神経反射による失神が現れることがありますので、接種後30分は座って院内で様子を見てください。

重い副反応としては、まれに、アナフィラキシー（血管浮腫・じんましん・呼吸困難など）、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎等が現れることがあります。

子宮頸がんワクチンは、2009年（平成24年）から接種が開始され、2015年（平成27年）には定期接種になりました。接種後に全身疼痛や不随意運動、感覚過敏、歩行障害、動悸、息切れなどを訴える症例が出現し、ワクチン接種との関連が疑われたために、現在、国は積極的な接種のお勧めをしておらず、大阪市も慎重な立場をとっています。一方、日本産科婦人科学会や日本小児科学会、日本感染症学会等は、上記の副反応とワクチンは直接の関連がないとする立場をとっており、ワクチン接種を推奨しています。

接種を希望する方は、このような経緯をご理解のうえ自己責任で受けていただきますようお願いいたします。

【接種対象年齢・回数・間隔等】

① 定期接種（大阪市の場合）

予防接種名	対象年齢	標準的な接種年齢	回数	接種間隔
子宮頸がん予防※	ガーダシル(4価)	小学6年生から高校1年生の年齢相当	3回	1回目を0月として、以降2か月、6か月の間隔をあける
	サーバリックス(2価)			1回目を0月として、以降1か月、6か月の間隔をあける

② 任意接種

定期接種の対象者以外の方は、事前に医師と相談のうえ行います。

接種後の注意

- ・接種当日の激しい運動は避けてください。
- ・接種部位に、発赤、いたみや硬結（しこり）をみることがありますが、特に心配はいりません。熱感あれば冷やして様子を見るようにしてください。
- ・特に異常な症状があった時には、主治医か休日診療所を受診し、その結果を当センター（Tel.06-6768-1486）へご連絡ください。

☆次頁の各ワクチン共通の説明書も、必ずご覧ください。

各ワクチン共通の説明書

1. 一般的な注意

- (1) 受ける予防接種について、この予防接種説明書をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解してください。わからないことは予防接種を受ける前に質問してください。
- (2) 接種当日は、母子健康手帳を持ってきてください。(成人で母子健康手帳のない場合は結構です。)
- ◎受けられる方がお子さんの場合については、保護者の方は以下の点についても特にご注意ください。
 - (1) 当日は体温を計り、朝からお子さんの状態をよく観察し、普段と変わった様子がないことを確認してください。接種に連れていく予定をしても体調が悪いときはやめてください。
 - (2) お子さんの日頃の状態をよく知っている保護者の方がお付き添いください。
 - (3) 予診票はお子さんを診察して接種する医師への大切な情報です。ありのままに記入してください。

2. 病気にかかった後の接種間隔

麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜ等にかかった場合には、全身状態の改善を待って接種してください。医学的には、免疫状態の回復を考えて次の間隔をあけてください。

麻しん (治ってから 4 週間程度)	風しん、水痘、おたふくかぜ (治ってから 2~4 週間程度)
突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑 (治ってから 1~2 週間程度)	普通感冒や上気道炎 (治ってから 1 週間程度)

3. 予防接種を受けることができない人

- (1) 明らかに発熱のある人 (明らかな発熱とは、接種場所で測定した体温が 37.5℃以上を指します。)
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人。急性の病気で薬を飲む必要がある人は、その日は見合わせるのが原則です。
- (3) 予防接種の接種液の成分でアナフィラキシー (接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や重いアレルギー反応のこと) を起こしたことがある人。
- (4) BCG 接種の場合は、外傷などによるケロイドができたことがある人。
- (5) その他、医師が接種不相当と判断した人。

4. 予防接種を受ける場合、医師とよく相談しなくてはならない人

次に該当すると思われる人は、かかりつけの医師がある場合には必ず前もって診ていただき、診断書又は意見書をもってからご来院ください。

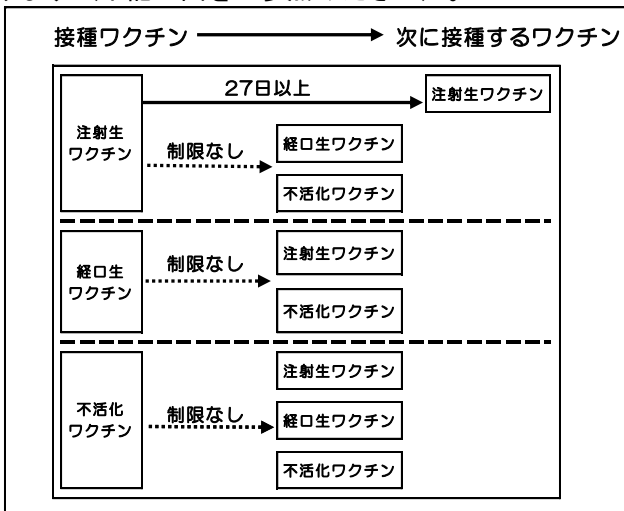
- (1) 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気及び発育障がいなどで治療を受けている人。
- (2) 予防接種後 2 日以内に発熱及び、全身性の発しんなどアレルギーを疑う症状がみられた人。
- (3) 接種しようとする接種液の成分に対して、アレルギーの症状が出るおそれのある人。
- (4) 今までにけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある人。
- (5) 過去に免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人。
- (6) 家族、接触のあった友だちなどに、麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、水痘(みずぼうそう)などの病気が流行している時で、予防接種を受ける本人がその病気にかかっていない人。感染して潜伏期間(症状が出ない期間)中の場合がありますので、かかりつけの医師と事前によく相談してください。
- (7) BCG 接種については、過去に結核患者と長期に接触があった人、結核に感染している疑いのある人。

5. 予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- (1) 予防接種を受けたあと 30 分以内に、急な副反応がおこることがあります。接種後は安静に待機し、体調に変化がないかどうか様子を見てください。
- (2) 接種部位は清潔にしてください。入浴は差し支えありませんが、接種した部位をこすることはやめてください。接種当日はいつも通りの生活ができますが、はげしい運動は避けてください。
- (3) 高熱、おう吐、けいれん(ひきつけ)など特に異常な症状があった時には、主治医か休日診療所を受診し、その結果を当センターへご連絡ください。

6. 予防接種の接種間隔

異なる種類のワクチンを接種する際、注射生ワクチンと注射生ワクチンは 27 日以上間隔をあける必要があります(下記の図をご参照ください)。



予防接種の種類
【注射生ワクチン】 麻しん風しん混合(MR) 水痘(みずぼうそう) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 結核(BCG) 黄熱
【経口生ワクチン】 ロタウイルス(1 価・5 価)
【不活化ワクチン】 4 種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ) 3 種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風) 2 種混合 (ジフテリア・破傷風) インフルエンザ ポリオ 破傷風 日本脳炎 ヒブ(インフルエンザ菌 b 型) A 型肝炎 B 型肝炎 狂犬病 髄膜炎菌 肺炎球菌(13 価・23 価) HPV(ヒトパピローマウイルス)

◎同じ種類のワクチンを複数回接種する場合、それぞれのワクチンに定められた接種間隔があります。医師とよく相談したうえで接種を受けてください。